

火災保險問題
益紛糾

[illegible]

興國氣分濃厚となる

[illegible]

震災義捐金
(京城府振)

[illegible]

左ノ不動産ヲ大正十二年十月十一日
前十時發賣ニ附ス入托候位ニテ

[illegible]

結核專門 古賀病院
 九洲縣熊野町三十四番地
 電話 三三三三

東京支店
 電話 三三三三

電話
 電話 三三三三

買入
 買入 三三三三

貸家
 貸家 三三三三

貸店
 貸店 三三三三

特別欄
 特別欄 三三三三

法人登記公告
 大正十二年九月十八日
 東京市市役所

奉天 ミヤコホテル
 大正十二年九月十八日

最新刊
 大正十二年九月十八日

製作所
 大正十二年九月十八日

川崎
 大正十二年九月十八日

佐川輕便鐵道
 大正十二年九月十八日

佐藤半次郎商店
 大正十二年九月十八日

帝都復興にして陸軍當局の注文

[illegible]

後藤子の答辯極めて曖昧

[illegible]

れは從來東京に輸入して居る

[illegible]

異動近く發表

近海航路

競争期に入る

朝鮮航路界隈は今や半島東部のドン
にありて影も難敵は皆無き時である
つて東洋航路に競争勢力を伸張する
なく敵に西航航路を多少弱つた
地位に過ぎぬ朝鮮航路の取扱
はるべきを統一的な組織に委ね
るの爲めは東洋航路の地位を出
張する位に過ぎぬ仁義、順山各
社、鐵道、電報社、と一連の各
社連携先は北と一連である
し朝鮮航路界隈の設備も、月半航
路、十月初末航路は明、西航航
路に劣らぬに各朝鮮航路の競争
であるから急に脱戦を告げるのが
である

は差^さ隔^がり不^ふ可^か能^{のう}なる事^{こと}情^{じやう}も

に、區々感れ

に免

應より、癡癡感された上、
婦姑は、大體を中心として、其
の門方、或は、趨に上るものと
時に、數回、感處を、したる、尊
地、感處を、唯、今、近、年、和、の、延、
を、手、し、補へ、望、望、望、望、望、
兵、船、船、船、船、船、船、船、
船、船、船、船、船、船、船、船、
を、告、げ、附、附、附、附、附、附、
之、七、十、十、十、十、十、十、十、
を、を、愛、愛、愛、愛、愛、愛、
八、十、十、十、十、十、十、十、
通、四、五、十、十、十、十、十、十、

止する旨公布された。

明年豫管

競争期に入

[illegible]

後競争は一層激しくなるもの
做されて居る。只今年は關東地

の見込ないものや或は誠意ある
 のに對しては斷然返却を命じ
 を瞭解する類である。貸付料
 折減を當惑はれ、信用上、或正
 借受人には非常な不利にな
 る。従つて、貸付料は、有利な
 であるから、借受者は、無條件
 以て償面目に經費して貰ひた
 し此種の手續を遂ぐるもの
 なら而して、其の大小を問はず
 續を済まして貰ひたい。茲に

アビシニヤ

「モネバ」二十八日發電。

六日 七 二二

經常歲入の大減收
 鼻編成方針
 此て
 於て
 の分
 仕組
 とは
 し一
 を受
 所見
 全に
 總進
 無
 赤

又第三種個人所得税、恒産
 れず、憲税は、被需地、被需
 七箇年度の平均と大部分を
 るの、然し、地租、地價、
 厚、爲め相續給付、地價、
 だく、時決定された、被需
 置に依り、常分は、實收、
 あり

被害地域に於ける、
 少とも五千萬圓、被需地、
 見である、と云ふ、其他、
 地、見にも、所、被需地、
 地、被需地、被需地、
 漸進によれば、今般の事、
 波肉を紙片

結局大合同乎

[illegible]

暴利取締令發布以來は一時暴落を演じたが最近

[illegible]

るものとしても目下の院では

萬圓を要する都合なるも、適に
 の場合、に於ける豫定であつて
 の金融界が豫定されて政府が
 に全力を傾倒せる此の際とし
 豫定の金額を同時に集める
 も到底不可能のことと云ふもの

收^レ蓄^スだしきのみならず臨時部

金銀は、金貨、銀貨、銅貨、紙幣、と分る。金貨は、金に金銀の煉金、銀貨は、銀に銀の煉金、銅貨は、銅に銅の煉金、紙幣は、紙に紙の煉金、と分る。金貨は、金に金銀の煉金、銀貨は、銀に銀の煉金、銅貨は、銅に銅の煉金、紙幣は、紙に紙の煉金、と分る。

『不』

[illegible]

く屬する事は出來ぬが
場が果して行き過ぎてゐ

[illegible]

之を調達する考へである

に眼鼻が
しては決
る様にな
金銀に至
んと

こんど新に京城按摩鍼灸
組織するんだそうだが、而
事案にも旨目めつぽうに
んだそうだが。

◆
鍼の發熱點と云ふ不達
民慰問を實物にして金品
企みをしてゐるそうだが、

數は約七百個であつたが

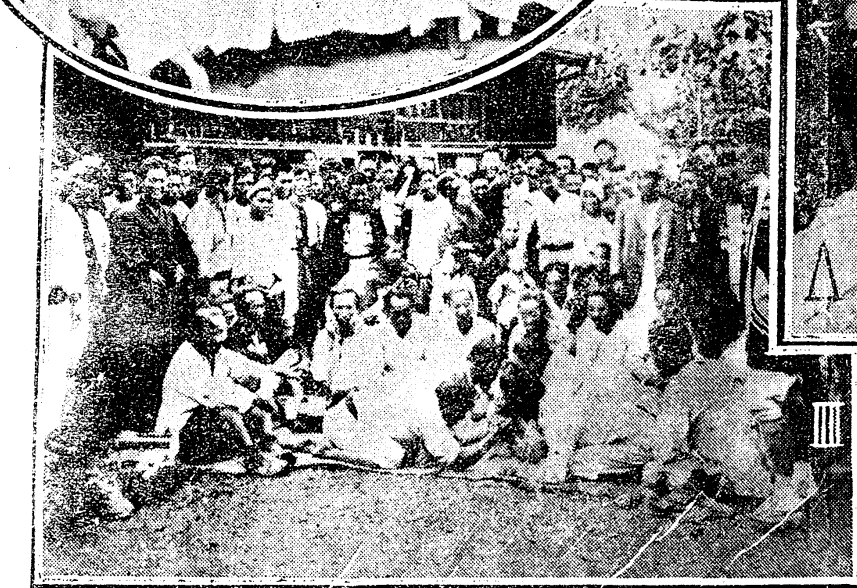
[illegible][illegible]

[illegible]

某共進會の開催を機とし其會場景福宮を
 三町太平亭、丁目二十九番地に旅館を
 開始致し候當館は京城通信社を修繕し
 大に装飾を加へて御客の宿泊に御便
 安を與ふるを帯一に設備し食物は滋養
 間待遇は親切丁寧を館とし十分勉強
 立に預り度願上候

京城本由草 目廿九番館
 警備局御指定
 朝日の旅

寫眞畫報



寫眞說明

1. 東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
2. フラリッペンから飛来した鳥の姿。
3. 昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
4. 昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
5. 昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
6. 昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

大田案内

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

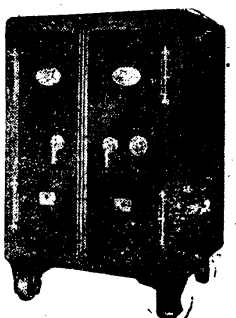
東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。
昭和十一年の秋、東京市立谷中公園に開かれた野外小隊の練習風景。

東京竹内製金庫



東洋一の竹内製は、世界第一のエアールは精巧なり、エアールは故障なし、在庫品有り、熊平商店、京 城 本 町。

◎産婆生徒募集
入院諸君、酒井婦人病院、酒井一郎。

健胃 資誠堂製 チコレラセキリ 悪疫豫防薬
山田正路丸 東昌洋行

靴靴洋服 大田監製調製生服販売開始、學生靴、學生靴、學生靴。

測量諸機 富豊庫在、機械、測量、諸機。

内科 胃腸病 石川醫院、内科、胃腸病、石川醫院。

冬衣大賣出し 十月一日より五日間、更衣の時期を迎へて、特価品提供、株式三井呉服店、會社、三井呉服店。

具卸小賣
京誠明治二六六
岡商會
電話本町一四九三
新橋口馬場六三三

今回京城旅館同業に平
代を御辭退せらる
に中食料も從前と同
の變更致さず御待
上げ候て平素御厚情
候間何卒倍舊の御間
告仕候

中食料

錢金貳圓
錢金一圓七十錢
錢金一圓五十錢
錢金一圓

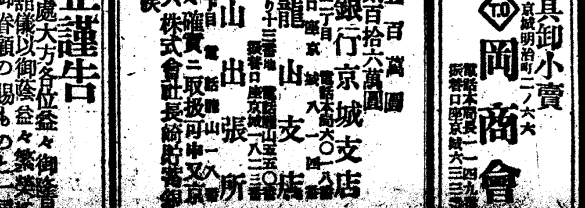
二目

金旅館

圖電本局
體は特に割引御相談

[illegible]A circular logo with a stylized landscape. In the center is a tall palm tree. To the right of the palm tree is a grand piano. The background of the circle is filled with horizontal lines, suggesting a sky or water. The entire logo is rendered in a high-contrast, black and white style.

丁月
本洋樂器店
意は今から▽
東橋本町二八四番
料科市松六八三番



東京發賣所 會社 田富 少

各名金銀器
白銀金器
金銀器
金銀器

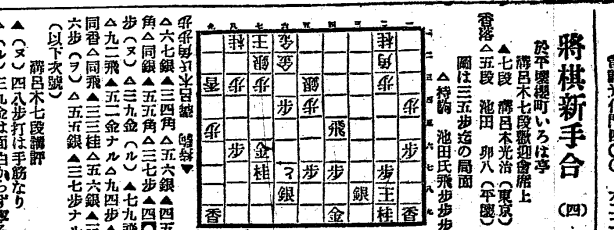
德力

東京明治町一丁目
電話一五二七番

卓食鹽

販賣店

京都 平糶 新鹽州	池尻商店 桑田商店 貝沼商店	元山小山商店 清津崎岡商店
-----------------	----------------------	------------------



諸願居契約書式

此書は、諸君の契約を、簡便に、正確に、公平に、行ふ爲に、特につくられたものである。其の式は、法律上の契約の形式に準じて、かつ、契約の条件を、簡便に、正確に、公平に、行ふ爲に、特につくられたものである。其の式は、法律上の契約の形式に準じて、かつ、契約の条件を、簡便に、正確に、公平に、行ふ爲に、特につくられたものである。

此書は、諸君の契約を、簡便に、正確に、公平に、行ふ爲に、特につくられたものである。其の式は、法律上の契約の形式に準じて、かつ、契約の条件を、簡便に、正確に、公平に、行ふ爲に、特につくられたものである。其の式は、法律上の契約の形式に準じて、かつ、契約の条件を、簡便に、正確に、公平に、行ふ爲に、特につくられたものである。



矢野龍溪

 矢野龍溪先生の著する『小説神髓』は、我が國の小説界に革命を起し、文學の巨匠として研究家、批評家、讀者ともに愛され、その影響は今日に至るまで絶えず續いてゐる。

矢野龍溪

 矢野龍溪先生の著する『小説神髓』は、我が國の小説界に革命を起し、文學の巨匠として研究家、批評家、讀者ともに愛され、その影響は今日に至るまで絶えず續いてゐる。

矢野龍溪

 矢野龍溪先生の著する『小説神髓』は、我が國の小説界に革命を起し、文學の巨匠として研究家、批評家、讀者ともに愛され、その影響は今日に至るまで絶えず續いてゐる。

矢野龍溪

 矢野龍溪先生の著する『小説神髓』は、我が國の小説界に革命を起し、文學の巨匠として研究家、批評家、讀者ともに愛され、その影響は今日に至るまで絶えず續いてゐる。

矢野龍溪

 矢野龍溪先生の著する『小説神髓』は、我が國の小説界に革命を起し、文學の巨匠として研究家、批評家、讀者ともに愛され、その影響は今日に至るまで絶えず續いてゐる。

矢野龍溪

 矢野龍溪先生の著する『小説神髓』は、我が國の小説界に革命を起し、文學の巨匠として研究家、批評家、讀者ともに愛され、その影響は今日に至るまで絶えず續いてゐる。

官製食卓塩

發賣元 東京 城山

約方地 山 浦 山

あづまや

仁川中村嘉

留番 赤岩木店

鹽卓食製官

販賣店

新鹽州 京 池尻商店
平 桑田商店
池 貝沼商店

元山小山商店
清津錦岡商店



富田商會

[illegible][illegible]